J. Soc. Powder Technol., Japan, **62**, 373 (2025)

行事報告
Event Report

ダイバーシティ委員会の行事報告 ―ライオン（株）の研究所見学と講演会―

Diversity Committee Event Report —Tour and Lectures in Lion Corporation Laboratory—

ダイバーシティ委員会委員長
中野 裕美
Hiromi Nakano

ダイバーシティ委員会は，ダイバーシティ推進の理解と粉体工学会の活性化のために，平成 28 年に発足以来，ランチョンセミナーや粉体工学会誌でのリレー形式の記事掲載など，会員参加による活動を行ってきた。今回は，初企画として，ライオン（株）平井研究所にご協力をいただき，（一社）日本粉体工業技術協会人材育成委員会との共催で，講演会と研究所見学会を，オンラインと現地でのハイブリッドにより開催した。若手からシニアの技術者，研究者，学生など 43 名の参加により，楽しい会となった。講演内容は以下の通りである。

講演 1：中野 裕美 氏（豊橋技術科学大学）「ダイバーシティに関する最近の動向とジェンダー平等への期待」
講演 2：浅野 ほたか 氏（ライオン（株））「企業のダイバーシティの取り組み」
講演 3：周藤 雅美 氏（（株）栗本鐵工所）「企業での働き方，理系キャリアの築き方」

講演 1 では，女性参画は，研究開発において特許の経済価値を上げることや，企業の利益率が上がる事などデータを示して理解を深めた。さらに男性育児休業の取得状況，日本のジェンダーギャップ指数の低迷など最新データが示された。講演 2 では，企業でワークライフバランスをどのように実現してきたか，ご自身の経験を踏まえて説明され，さらに管理職としてのメッセージもいただいた。育児中の女性にとってだれもが悩んだことがある，「仕事を継続することで子供に負担をかけてはいないか？」についての体験談では，参加者から感激したとの声が聞かれた。講演 3 では，企業では「顧客満足」，

講演会の様子

大学では「真理探究」と，研究開発のアプローチが少し異なることや，仕事の取り組み姿勢，ジョブローテーションなど，ご自身の経験を交えて詳しく説明された。また，人材育成では，「3 つのき：期待して，機会を与えて，鍛える」が大事だと繰り返された。意見交換の時間では多くの質疑応答があり，本音トークに花が咲いた。ライオン（株）平井研究所の見学会では，きれいな施設と女性管理職比率が比較的高い事を知り，女子学生さんからあこがれの声が聞かれた。見学後のライオン（株）食堂で軽食を囲んだ懇親会は，若い技術者が多く参加されたこともあり，名刺交換や交流がにぎやかに行われ，人脈が広がる場となった。

今後，ダイバーシティ委員会は，より多くの方が参加できる取り組みを企画し，だれもがダイバーシティ社会を正しく理解し，粉体工学会がより活性化するための活動を展開したいと考えている。

粉体材料設計研究会 2022 ～ 2023 年度活動報告

Activity Report of Research Group on Designs of Particle and Powder for Advanced Materials, 2022–2023

粉体材料設計研究会では，粉体工学と密接な研究が進みつつある先進セラミックス分野をモデルケースとして，目指す材料の高品質化，高機能化，高信頼性化の基礎となる粉体材料設計について議論することを目的として活動を行っている。2022 ～ 2023 年度は，各種材料と粉体との関わりに関する講演会を開催した。また，ICCCI2022 でのセッションや，ISPPTAC-2 にて国際交流を図った。

【2022 年度】

ICCCI2022（7th International Conference on the Characterization and Control of Interfaces for High Quality Advanced Materials）（セッション A　Interface Characterization and Control for Nanoparticles and Powders として開催）
日　時：2022 年 11 月 15 日～ 18 日
場　所：ハイランドリゾートホテルアンドスパ

口頭発表　95 件　（セッション A　22 件）
うち，招待講演 40 件　（セッション A　5 件）
ポスター発表　69 件　（セッション A　25 件）
海外発表者　40 件（18 カ国）
企業展示　17 件
参加者　215 名
うち，海外参加者　82 名

第 1 回粉体材料研究会
日　時：2022 年 11 月 21 日
場　所：横浜国立大学＋オンライン
講演会
・Rapid Hot-pressed ultra-high creep resistant silicon carbide ceramics
　Pavol Sajgalik（Slovak Academy of Sciences, Slovakia）
・Innovation created by Self-healing Ceramics
　中尾 航（横浜国立大学）
・Functional particles and powder processing: Key steps in material and property design
　Wolfgang Peukert (University of Erlangen, Germany)
・3D-printing, a platform technology
　Steven Mullens (VITO, Belgium)
・Design of interparticle photo-cross-linkable suspensions for rapid 3D structuring of ceramic materials
　飯島 志行（横浜国立大学）
研究室見学
横浜国立大学丸尾研究室（アディティブマニュファクチャリング），中尾研究室（先端材料），多々見・飯島研究室（セラミックス・粉体プロセス）

【2023 年度】

第 1 回粉体材料設計研究会
日　時：2023 年 2 月 17 日
場　所：横浜国立大学
講演会
・Advanced Materials and Space Sustainability
　Loredana Santo (University of Rome Tor Vergata, Italy)
・材料開発と粉体プロセス
　内藤 牧男（大阪大学接合科学研究所）

第 2 回粉体材料設計研究（テーマ：粉体と芸術の新たな連携）
日　時：2023 年 5 月 19 日
場　所：横浜国立大学
講演会
・古代ギリシャの色彩研究と西欧絵画
　坂田 勝亮（女子美術大学）
・3D プリンティングが拓く芸術の新時代
　丸尾 昭二（横浜国立大学）
・私たちの感性を刺激する微粒子分散技術の基礎
　飯島 志行（横浜国立大学）

第 3 回粉体材料設計研究会（ISPPTAC-2 (2nd Intenational Symposium on Powder Processing Technology for Advanced Ceramics) と共催）
日　時：2023 年 11 月 15 日～ 16 日
場　所：横浜国立大学
・Technological Innovation-Driven Strategies in Achieving the Sustainable Development Goals (SDGs) through Net-Zero GHG Emissions
　Mrityunjay Singh (President and CEO, Global Alliance for Technology and Society, USA.)
・Static and Dynamic Rearrangement of High-Nickel Cathode particulates in dry coating for a high energy density Lithium Ion Battery
　Ungyu Paik (Hanyang University, Korea)
・High Throughput Screening Platform for Discovery of

Inorganic Luminescent Materials: with Two Cases
Qian Liu (Shanghai Institute of Ceramics, P.R.China)

・Photocurable suspension design for rapid manufacturing of 3D-structured ceramic components
Motoyuki Iijima (Yokohama National University, Japan)

・New activities in self-healing of ceramics and their value
Wataru Nakao (Yokohama National University, Japan)

・Recent particle scale simulation methods for powder processing
Yansong Shen (University of New South Wales, Australia)

・Regulating Li electrodeposition for reliable and robust anode-free all-solid-state batteries
Taeseup Song (Hanyang University, Korea)

・Development of high thermal conductivity Si_3N_4 ceramics from tape casting and gas pressure sintering
Jingxian Zhang (Shanghai Institute of Ceramics, P.R.China)

・Micro-scale mechanical properties of surface layer in ion-exchanged glass
Tatsuki Ohji (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology, Japan)

・Fabrication of High Performance Si_3N_4 Ceramics with Radial Grain Alignment Using Centripetal Sinter-Forging
Hua Tay Lin (GuangDong University of Technology, P.R.China)

・Room-temperature densification of MgO bulk ceramics with dispersed nitride phosphor particles
Takuma Takahashi (Kanagawa Institute of Industrial Science and Technology, Japan)

・Long-term stability of zirconia and its applications
Wei-Hsing Tuan (National Taiwan University, Taiwan)

・Smart Powder Processing for Sustainable Society
Makio Naito (Osaka University, Japan)

・OCT operando observation of internal structure of ceramics for powder process informatics
Junichi Tatami（Yokohama National University, Japan）

横浜国立大学粉体関連研究室見学

本研究会と同時に，『非営利活動法人富士山からはじまる天然顔料と粉砕の研究会』による日本画ワークショップを開催した。

（横浜国立大学　多々見 純一）

不均質構造の利用と制御に関するワークショップ 2022 年度活動報告

Activity Report of Workshop on Utilization and Control of Inhomogeneous Structure, 2022

電子材料や構造材料等の各種セラミックス，サーメット等の金属材料，医薬品・化粧品，ポリマーなど多岐にわたる材料が粉体を利用して製造されている。また，ソフト粒子である微生物の付着現象はバイオリアクターによる有価物生産などに係わっている。材料の高性能化やシステムの高効率化などは，いずれも粉体を構成する微粒子と同スケールの不均質構造に関係している。それぞれの課題を解決するために各分野で不均質構造の利用と制御に関して個別に議論がなされてきたが，学術分野横断的な体系化はなされていなかった。粉体に係わる不均質構造の利用と制御に関する知見を普遍的なものとし，粉体を利用して製造される材料等における新規な指導原理を与えることを目指して，本ワークショップでは，不均質構造の積極的な利用・制御に関する分野を超えた情報交換を行う場を提供することを目的とした活動を行った。

【2022 年度】

ワークショップ自体の活動ではないが，前年までのワークショップでの議論の結果をベースに，夏期シンポジウム『粉体の多様な不均質の理解と制御による材料創製』を ICCCI2022（7th International Conference on the Characterization and Control of Interfaces for High Quality Advanced Materials）のセッション A　Interface Characterization and Control for Nanoparticles and Powders として開催

日　時：2022 年 11 月 15 日～ 18 日
場　所：ハイランドリゾートホテルアンドスパ
口頭発表　95 件　（セッション A　22 件）
うち，招待講演　40 件　（セッション A　5 件）
ポスター発表　69 件　（セッション A　25 件）
海外発表者　40 件（18 カ国）
企業展示　17 件
参加者　215 名
うち，海外参加者　82 名

グリーンイノベーションのための先進セラミックスに関する講演・見学会
日　時：2022 年 11 月 19 日
場　所：横浜国立大学＋オンライン
講演会
Fourth Industrial Revolution and Its Impact on Sustainable Societal Development
Mrityunjay Singh（President, Global Alliance for Technology and Society, Past President, The American Ceramic Society, President, World Academy of Ceramics, Italy, Governor, Acta Materialia, Inc., USA）

見学会
横浜国立大学丸尾研究室，中尾研究室，多々見・飯島研究室

（横浜国立大学　多々見 純一）

親知らず抜歯体験記

先日，4本生えていた親知らずの最後の1本を抜歯しました。「最後の1本」というのは，他の3本は学生の頃に抜歯済みだからです。今回抜歯した歯は，左下顎の歯で，俗にいう「横向きに生えている親知らず＝水平埋伏智歯」だったため，歯茎を切開して歯を分割する必要がある歯でした。その説明を受けた当時は，抜く気になれず大切に残していた1本でしたが，この数年は体調が悪い時，ズキズキと疼くのです。それが嫌で，今回抜くことを決意しました。

抜歯は大学病院の口腔外科の先生に処置していただきました。表面麻酔を塗り，さらに麻酔を打ち，抜歯処置を受けました。ここまでで30分もかからなかったように思います。

しかし，学生の頃には言われなかったことを言われました。「加齢と共に歯の根と顎の骨が癒着することがあり，処置に時間を要することがあります。顎の骨を削った場合は，痛みが続くかもしれません。」（結果，顎の骨は削られませんでしたが，癒着はしていたようで処置を受けました）

なぜ，後回しにしたのか…20代の私よ。

そして，一番辛かったのは抜歯後1週間です。食事も1週間程は，柔らかいものしか食べられず，口の中を清潔に保つことにも苦心しました。また，1週間分処方された痛み止めを飲み切るほどに痛みが続きました。そんな痛みでしたが，抜糸後はすっかり落ち着き，生活も通常に戻りつつあります。

何より，親知らずの虫歯の心配がなくなったことで気持ちがスッキリとしました。（子ヤギ）

四分法

学生さんですかと聞かれた

学生たちの成長とともに，自分の衰えも感じる日々。五十路を過ぎてから今の大学に来た。構内でも「学生さんですか？」などと声をかけられたりすることはめっきり減ったように思うが，約二年間の記憶を辿ってみると…。

本会，つまり粉体工学会主催の行事に参加しようと顔を出したら，教授の先生から「学生？」と尋ねられたが「いえ職員です」とお答えした（その先生と実年齢は大して違わないように思いますが…）。それから，普段は学生実験のお手伝いをさせていただいている，助教の先生に「おいくつなんですか？」と聞かれたので，正直に「こんど52です」とお答えしたら，「ええ゛っ！！マッマジ！？」と激しい反応が返ってきた（実年齢が大して違わないと誤認されていた様子…）。逆に，東南アジアからのお客さんに“How old do I look? To you.”などと質問してみたら“Thirty-five?”という答えが返ってきた（国際的にも若く見られているな…）。でも，自分自身の若さが失われつつあることは間違いない（認めたくないものだな…）。これを題材にして本欄の原稿を書けないかな（笑）と2月上旬に起稿してみたが，忙しくなり二週間ほどが過ぎた。

先日（2月19日），消防団の人たちが団員を募集する活動を学内でしていた。質問したいことがあって話しかけていたら二人目の方に「学生さん？」と聞かれた。あっ久しぶりに言われた！これをネタにして本稿を締めくくっておくけど，さすがに，これが最後になるかもしれないなと思うと寂しくも感じる。

（MW）

四分法

ソー＋セージ

ソーセージ（sausage）は，sau＋sageで，古英語のsow（牝豚），又はドイツ語のsau（牝豚）と，sageはセージでハーブであるからにして，その合成でもって「肉と香辛料」と言う意味なのだ。というのはどうやら俗説らしい。だいたい香辛料の代表としてセージを持ってくるなんてちょっと不自然なんじゃないのかと多少訝しんではおったのですよね。ドイツ語のソーセージはそもそもWurstで全然違うからやはりラテン語由来ぽい。語源辞典を確認すると，基本的には，古仏語のsaussiche（現代仏語のsaucisse）に由来するとあり，この仏語は俗ラテン語のsalsicus（塩でマリネした）に辿り着くらしい。イタリア語でソーセージのことをsalsiccia と呼ぶがそれと同根である由。本場ドイツには1500種類以上のソーセージがあると何処かに書いてあったが，太さ，ケーシング（皮），具が豚か牛か合挽か。羊か。レバーか。などなどやって行くときりがないようである。ソーセージの日本農林規格を見ると，太さ，結着剤の量，肉以外の野菜やチーズなどの種を加えたもの，加熱の有無，塩漬の具合，乾燥の具合など，細々とした規定と名称があり，そしてそれが素人（筆者）には排他的分類でないように見えてちょっと理解が難しい。イングリッシュソーセージなんてこの分類に上手く収まるんですかね？生ソーセージだしパン粉多いし非肉類材料もいろいろ入っているし。ひょっとしてJAS的にはソーセージとして認められない？

（BB）

四分法

エアコンフィルターの清掃

5月になりそろそろ暑い日も増えてきたのでエアコンのフィルター掃除をした。職場はまだ建屋を引っ越して2年ほどなのでホコリは大した事無く，フィルターを掃除機でさっと吸うだけで簡単に済ますことができた。問題は自宅の1室のエアコンである。コロナ禍に自宅から遠隔授業のため，もともとエアコンの無い部屋の窓に簡易エアコンを取り付けたので一般的なエアコンよりもかなり低い位置にある。しかも住人たち（筆者も含む）がメンテナンスを考えずに突っ張り棒やらカラーボックスやらをエアコン周辺に設置しているためそのままではフィルターを外すことができず，フィルター清掃のためにはまず前にある邪魔な家具たちを移動しなければならない。こんな状況なのでやろうやろうと思いつつ先送りにしていたが，さすがに取り付けてから数年間一度もメンテナンスしていないのはヤバいと思い，せっかくの休日だが清掃に取り掛かった。こういう日に限って蒸し暑く，汗をかきながら家具類を移動させて何とかフィルターにアクセスしたのだが，数年間放置されていたフィルター上にはホコリとはもはや言えない何かの呪いか恨みの権化のようなスラリーというかペーストのようなものがへばり付いていた。この状態でもちゃんと部屋が冷えていたのだから驚きである。何度も洗浄してようやくきれいになったものの，洗い流した呪いで洗浄していた水場の排水口が詰まり水場の大掃除までやることになってしまった。皆さん，呪いや恨みが蓄積する前にエアコンフィルターの掃除をおすすめします。

（如月二月）

一般社団法人　日本粉体工業技術協会　本部：〒600-8176 京都市下京区烏丸通り六条上ル北町 181 番地　第 5 キョートビル 7 階
TEL　075-354-3581　FAX　075-352-8530
一般社団法人　日本粉体工業技術協会　東京事務所：〒113-0033 東京都文京区本郷 2-26-11　種苗会館 5 階
TEL　03-3815-3955　FAX　03-3815-3126

◆ 協会行事日程のご案内

最新情報は協会サイトからご確認ください。
行事の詳細は京都・協会本部または東京事務所にお問合せ下さい。

行　事　名	月　日	場　所	備　考
粉体入門セミナーⅠ（第 74 回）「粉体とは何だろうか？～その性質と評価～」	6 月 4 日（水）～ 5 日（木）	東京／アーバンネット神田カンファレンス	10:00 ～ 17:00
粉体入門セミナーⅡ（第 75 回）「粉をつくり，そして利用するために」	6 月 18 日（水）～ 19 日（木）	東京／アーバンネット神田カンファレンス	10:00 ～ 17:00
粉体入門セミナーⅢ（第 76 回）「粉をあやつる」	7 月 16 日（水）～ 17 日（木）	東京／アーバンネット神田カンファレンス	10:00 ～ 17:00
粉じん爆発・火災安全研修［初級・基礎編］	9 月 1 日（月）～ 2 日（火）	WEB または ハイブリッド開催予定	
粉体技術者養成講座　粉体ハンドリング	9 月 8 日（月）～ 9 日（火）	名古屋／（株）ナノシーズ	1 日目 10:30 ～ 16:55 17:10 ～ 19:00 交流会 2 日目 9:30 ～ 16:35
粉体技術者養成講座　混合	10 月 3 日（金）	神奈川／（株）徳寿工作所	
POWTEX®2025	10 月 15 日（水）～ 17 日（金）	大阪／インテックス大阪	
粉体技術者養成講座　乾燥	10 月 30 日（木）～ 31 日（金）	静岡／（株）大川原製作所 技術センター	
粉体技術者養成講座　粒子加工	11 月 6 日（木）～ 7 日（金）	兵庫／（株）パウレック	
粉体技術者養成講座　粉砕	11 月 12 日（水）～ 13 日（木）	東京／ヴァーダー・サイエンティフィック（株）	
粉体技術者養成講座　集じん	12 月 15 日（月）～ 16 日（火）（予定）	名古屋／ウインクあいち（予定）	
粉体技術者養成講座　ろ過	2026 年 1 月後半	大阪／関西金網（株）	
第 73 回粉体技術専門講座【混合・成形分科会】	2 ～ 3 月頃	未定	

◆ 分科会の開催案内

会員の方ならどなたでも参加できます。非会員の方でも参加できますので，参加を希望される場合は，各分科会の申込み先あるいは協会本部までお問合せください。分科会の活動状況と詳しい開催案内は協会ホームページでご確認ください。

行　事　名	月　日	時　間	場　所
第 1 回粉砕分科会	6 月 11 日（水）	13:00 ～ 17:20 頃（見学会＆講演会）17:30 ～ 19:00（懇親会）	見学・講演会：共栄製茶（株）京都テクノセンター 懇親会：居酒屋つのふり
第 1 回集じん分科会	6 月 16 日（月）	13:00 開始予定	岡山／岡山中尾フィルター工業（株）笠岡工場
第 1 回乾燥分科会	6 月 23 日（月）	13:00 ～ 19:00	北海道／北海道立工業技術センター

第 1 回環境エネルギー・流動化分科会	6 月 24 日（火）	10:45 〜 19:00	香川／（株）エコマスター，（株）富士クリーン
合同分科会（粒子積層技術＆粉体シミュレーション技術利用）	6 月 24 日（火）	13:00 〜 19:00	名古屋／（一財）ファインセラミックスセンター
第 1 回リサイクル技術分科会	6 月 26 日（木）	13:00 〜 19:00	札幌／北海道大学 工学研究院
第 1 回粒子加工技術分科会	6 月 27 日（金）	8:15 〜 16:00	福岡／沢井製薬㈱　第二九州工場
合同分科会（湿式プロセス＆食品粉体技術）	7 月 11 日（金）	調整中	北九州／ TOTO（株）本社・工場
第 1 回晶析分科会	7 月 25 日（金）	13:15 〜 16:45（見学会＆講演会） 17:00 〜 18:15（交流会）	広島／三菱ケミカル㈱　広島事業所
合同分科会（微粒子ナノテクノロジー＆計装測定）	7 月 30 日（水）	10:45 〜 17:00（見学会＆講演会） 17:30 〜 19:00（情報交換会）	千葉／アシザワ・ファインテック（株）
第 1 回クリーン化分科会	8 月 21 日（木）	13:30 〜 17:00	茨城／新菱冷熱工業（株）　イノベーションハブ

分科会開催案内

https://appie.or.jp/introduction/organization/technical_groups/

◆ 粉体関連総合情報誌「粉体技術」

日本粉体工業技術協会が発行する月刊「粉体技術」は，粉体に関わるあらゆる技術，粉体領域に関する最新情報，マーケティング・マネージメントおよび海外情報など幅広い内容を網羅した**粉体関連産業に携わる方々への総合情報誌**です。一般の書店などでは容易に入手できませんので，ぜひ予約購読をお願い致します。

【最新号】2025 年 6 月号「未来の農業とアグリビジネス」

https://appie.or.jp/shirumanabu/publishing/funtaigijyutu/

四分法原稿募集中！

気軽に読めて楽しめる四分法原稿にご投稿されませんか？
文字数 600 字程度で，なるべく“粉”に関連したものが望ましいのですが，
限定はいたしません。
ペンネームと共に，当会和文誌編集事務局宛（E-mail:kaishi@sptj.jp）へご投稿を
お願いいたします。

*薄謝を進呈いたします。

博士学位取得者へ

博士学位を最近取得されました会員の皆さま，事務局までご連絡ください。
なお，会員の皆さまで，博士学位を取得される方をご存知の場合は，
（一社）粉体工学会 和文誌編集事務局までご一報ください。

TEL: 075-351-2318　　FAX: 075-352-8530
E-mail: kaishi@sptj.jp

粉体工学会　行事予定

☆ 主催行事

開催期日	行　事	会　場	掲載巻・号
2025年			
6月27日（金）	製剤と粒子設計部会2025年度第2回見学・講演会	沢井製薬株式会社 第二九州工場（福岡）	62巻5号
7月8日（火）〜11日（金）	第60回夏期シンポジウム【講演募集】	ハイランドリゾートホテル＆スパ（山梨）	62巻1号
7月23日（水）	2025年度第1回粉体グリーンプロセス研究会	兵庫県立大学（兵庫） 講演会のみハイブリッド開催	本号
9月11日（木）	第8回粉体塾	京都経済センター（京都）	本号
10月30日（木）〜31日（金）	第42回製剤と粒子設計シンポジウム【講演募集】	朱鷺メッセ（新潟）	62巻4号

☆ 特別協賛行事

開催期日	行　事	会　場	問合せ先	TEL（FAX）E-mail URL
2025年				
10月15日（水）〜17日（金）	POWTEX2025（第26回国際粉体工業展大阪）	インテックス大阪（大阪）		https://www.powtex.com/osaka/

☆ 共催，協賛，後援行事

開催期日	行　事	会　場	問合せ先	TEL（FAX）E-mail URL
2025年				
6月1日（日）〜30日（月）	第79回表面科学基礎講座「表面・界面分析の基礎と応用」	オンライン開催	日本表面真空学会	03-3812-0266 office@jvss.jp https://www.jvss.jp/jpn/activities/04/detail.php?eid=00024
6月4日（水）〜5日（木）	第74回 粉体入門セミナーⅠ	アーバンネット神田カンファレンス（東京）	日本粉体工業技術協会	075-354-3581 nyumon@appie.or.jp https://appie.or.jp/introduction/organization/technical_center/education/
6月6日（金）	2025年度 静電気学会講習会 基礎編 空気清浄の全て！〜集塵，ガス浄化，感染対策の原理，測定技術など〜	オンライン開催	静電気学会	03-3815-4171 iesj@iesj.org http://www.iesj.org/academic/6.html
6月6日（金）〜7月18日（金）	2025年度粉末冶金入門講座1〜4	オンライン開催	粉体粉末冶金協会	075-721-3650 info@jspm.or.jp https://www.jspm.or.jp/

6月12日（木）〜13日（金）	界面コロイドラーニング 第41回現代コロイド・界面化学基礎講座（大阪会場）	大阪産業創造館（大阪）	第41回現代コロイド・界面化学基礎講座事務局	jigyoukikaku_01@colloid.csj.jp https://colloid.csj.jp/202502/learning-41st-osaka/
6月18日（水）〜19日（木）	第75回 粉体入門セミナーⅡ	アーバンネット神田カンファレンス（東京）	日本粉体工業技術協会	075-354-3581 nyumon@appie.or.jp https://appie.or.jp/introduction/organization/technical_center/education/
6月20日（金）	第41回 物性物理化学研究会	京都大学（京都）（ハイブリッド開催）	物性物理化学研究会事務局	075-753-4792 maku22@pharm.kyoto-u.ac.jp https://www.pharm.kyoto-u.ac.jp/bussei
6月20日（金）〜8月26日（火）	熱測定講習会2025	8/26対面実習 東京理科大学 神楽坂キャンパス（東京）	日本熱測定学会	03-6310-6831 netsu@mbd.nifty.com https://www.netsu.org/2025lecture/
7月1日（火）〜4日（金）	第4回 安心・安全・環境に関する計算理工学国際会議	神戸国際会議場（兵庫）	日本計算工学会，日本計算力学連合	https://www.compsafe2025.org/
7月3日（木）〜4日（金）	界面コロイドラーニング 第41回現代コロイド・界面化学基礎講座（東京会場）	同志社大学東京サテライト・キャンパス（東京）	第41回現代コロイド・界面化学基礎講座事務局	jigyoukikaku_01@colloid.csj.jp https://colloid.csj.jp/202502/learning-41st-tokyo/
7月8日（火）〜10日（木）	第36回キャタリシススクール	東京大学 浅野キャンパス（東京）	触媒学会	048-858-3504 catalschool@sec-informations.net https://catsj.jp/event/18571
7月16日（水）〜17日（木）	第76回 粉体入門セミナーⅢ	アーバンネット神田カンファレンス（東京）	日本粉体工業技術協会	075-354-3581 nyumon@appie.or.jp https://appie.or.jp/introduction/organization/technical_center/education/
7月18日（金）〜21日（月）	International Workshop on Environmental Engineering 2025／環境工学総合シンポジウム2025（IWEE2025 & 2025SEE）	北見工業大学（北海道）	IWEE2025 & 2025SEE実行委員会	03-4335-7615 env-symp2025@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/env/iwee/2025/
7月24日（木）	第19回 日本セラミックス協会関西支部学術講演会	大阪大学豊中キャンパス（大阪）	日本セラミックス協会関西支部	06-6879-7353 csjkansai_19gakujutu@chem.eng.osaka-u.ac.jp https://www.ceramic.or.jp/skansai/gaku.html
7月24日（木）〜25日（金）	第22回技術講演会	湘南ヘルスイノベーションパーク（神奈川）	新製剤技術とエンジニアリングを考える会	072-774-3331 info@sinseizai.com https://sinseizai.com/
7月25日（金）	2025年度 第1回晶析分科会	三菱ケミカル 広島事業所（広島）	日本粉体工業技術協会 晶析分科会	crystallization@noritake.com https://appie.or.jp/wp-content/uploads/2025/04/250725shoseki.pdf
8月1日（金）〜2026年2月28日（土）	粒子・流体プロセス技術コース2025（第39回流動層技術コース）	群馬大学（群馬）他	粒子・流体プロセス技術コース事務局	0277-30-1456 yhayashi@gunma-u.ac.jp https://sites.google.com/site/atwfbtc/

8 月 19 日（火）〜 27 日（水）	第 55 回 初心者のための有限要素法講習会（演習付き）	日本材料学会会議室（京都），FOCUS（公財）計算科学振興財団実習室（兵庫）	日本材料学会	075-761-5321 jimu@office.jsms.jp https://www.jsms.jp
8 月 27 日（水）〜 29 日（金）	第 42 回 エアロゾル科学・技術研究討論会	姫路商工会議所（兵庫）	日本エアロゾル学会	jaast-touron@conf.bunken.co.jp https://sites.google.com/view/jaast42hi/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0
9 月 17 日（水）〜 19 日（金）	第 38 回 秋季シンポジウム	群馬大学 荒牧キャンパス（群馬）	日本セラミックス協会	03-3362-5231 fall38@ceramic.or.jp https://fall38.ceramic.or.jp/
9 月 22 日（月）〜 25 日（木）	第 76 回コロイドおよび界面化学討論会	千葉大学 西千葉キャンパス（千葉）	日本化学会 コロイドおよび界面化学部会	086-251-7843 ohkubo@okayama-u.ac.jp https://pub.confit.atlas.jp/ja/event/colloid2025
10 月 6 日（月）〜 9 日（木）	第 11 回材料 WEEK	京都テルサ（京都）	日本材料学会	075-761-5321 jimu@office.jsms.jp https://www.jsms.jp
10 月 8 日（水）〜 9 日（木）	第 46 回初心者のための疲労設計講習会	京都テルサ（京都）	日本材料学会	075-761-5321 jimu@office.jsms.jp https://www.jsms.jp
10 月 8 日（水）〜 10 日（金）	第 46 回日本熱物性シンポジウム	アバンセ（佐賀）	日本熱物性学会	03-5452-6218 jstp@iis.u-tokyo.ac.jp https://jstp-symp.org/symp2025/index.html
12 月 1 日（月）	2025 年度 粉末冶金基礎講座	京都経済センター（京都）（ハイブリッド開催）	粉体粉末冶金協会	075-721-3650 info@jspm.or.jp https://www.jspm.or.jp/
12 月 2 日（火）	2025 年度 粉末冶金実用講座	京都経済センター（京都）（ハイブリッド開催）	粉体粉末冶金協会	075-721-3650 info@jspm.or.jp https://www.jspm.or.jp/

▶会 員 消 息

会　員　数

2025 年 5 月 16 日現在

維持会員	18 社
賛助会員	71 社
事業所会員	237 社
個人会員	365 名
学生会員	93 名
図書館会員	18 社
名誉会員	92 名
会員総数	894

2025 年度第 1 回粉体グリーンプロセス研究会

日　時：令和 7 年 7 月 23 日（水）13:30 〜 17:00
場　所：兵庫県立大学姫路工学キャンパス C 棟 3 階 C302 会議室
（〒 671-2280　兵庫県姫路市書写 2167 番地）
※講演会のみオンラインとのハイブリッド開催
主　催：一般社団法人粉体工学会粉体グリーンプロセス研究会
共　催：一般社団法人粉体粉末冶金協会粉体基礎分科会
一般社団法人粉体工学会粉砕の高度利用研究会
公益社団法人化学工学会粒子・流体プロセス部会粉体プロセス分科会

プログラム：

13:30	受付開始
14:00 〜 14:10	開会挨拶，自己紹介
14:10 〜 15:10	様々な素材を活かした製剤化技術による機能性粒子の創成 和歌山県立医科大学 薬学部 教授 門田 和紀 氏
15:20 〜 16:20	装置形状改良や粒子の分散状態制御による効率的固液分離技術の開発 兵庫県立大学 大学院工学研究科 准教授 佐藤根 大士 氏
16:30 〜 17:00	研究室見学会（希望者のみ）

参加費：無料
定　員：対面 20 名，オンライン 100 名
参加申込方法：下記サイトからお申し込み下さい。
右の QR コードからもアクセス可能です。
https://forms.gle/r1gE4xFwJaaqHXpGA
申込締切：2025/7/15（火）17:00 まで

【問い合わせ先】
兵庫県立大学大学院工学研究科　佐藤根
E-mail: satone@eng.u-hyogo.ac.jp
TEL/FAX: 079-267-4842

粉体工学会2025年度春期研究発表会

ベストプレゼンテーション賞（BP賞）受賞者

粉体工学会ベストプレゼンテーション賞（BP 賞）は，本会の春期研究発表会において，発表の内容および方法が特に優れていたと認められた 36 才未満の発表者に贈られます。

2025 年度春期研究発表会における受賞者は，審査委員会による慎重な審議の結果，つぎの 3 名の方々に決まり，春期研究発表会の第 2 日目に賞状と副賞として書籍代が授与されました。なお，本 BP 賞は，粉体工学情報センターの助成を受けています。

今井 裕貴（横浜国立大学大学院 環境情報学府）
発表演題：パルス NMR 法による SiO_2 スラリーの粒子濃度に依存した分散状態の評価

小池 風輝（法政大学大学院 理工学研究科）
発表演題：粒子濃度が直流電場による沈降促進効果に及ぼす影響

藤原 萌子（広島大学大学院 先進理工系 科学研究科）
発表演題：PPS 製ろ布の NO_2 による高温劣化に与える水分の影響

第 8 回粉体塾－粉体工学の基礎の基礎－

本年度も法人会員様限定（無料）の「粉体塾」を開催いたします。

粉体塾は，粉体工学の最も基礎的なところに焦点を当てて，講義を行うものです。この企画は，少人数でアットホームな環境において講師と受講生との質疑，討論を通じて，受講生に，粉体技術を使いこなし，イノベーションを生み出すための基盤を提供することを目指しております。可能な限り受講生の皆様との議論を深めるよう努力いたしますので，是非奮ってご参加ください。本年度は対面方式で開催します。

日　時：2025 年 9 月 11 日（木）13:00 ～ 16:45
場　所：京都経済センター　6 階会議室 6-B
（〒 600-8009 京都市下京区烏丸四条通室町東入函谷鉾町 78 番地）

【プログラム】

13:00 ～ 13:15　講師挨拶
13:15 ～ 14:15　「気中での粒子の分散・凝集の基礎（案）」

講師：岡山大学　教授　後藤 邦彰　氏

粉体を構成する粒子は“付着性”があり，プロセス中で取り扱うと凝集粒子を形成します。その凝集粒子を構成する一次粒子に分離する操作が分散操作です。この分散・凝集操作の基礎となる粒子間の相互作用は，乾燥状態と湿潤状態で支配因子が異なります。最初の講義では，気中での粒子の付着性，凝集，分散現象の基礎について説明します。

14:15 ～ 14:30　休憩
14:30 ～ 15:30　「液中での粒子の分散・凝集の基礎（案）」

講師：名古屋工業大学　教授　藤 正督　氏

液中での粒子分散は，セラミックスなどの材料製造はもとより，塗料，製薬，化粧品，薬品，食料等の製造においても重要な役割を果たしています。液体の中に粒子が存在するだけの単純な状態ですが，粒子に働く力でその様子が大きく変わります。本講ではこれらの現象を理解するための液中粒子分散の基礎について説明します。

15:30 ～ 15:45　休憩
15:45 ～ 16:45　総合討論

講師：岡山大学　教授　後藤 邦彰　氏
名古屋工業大学　教授　藤 正督　氏

実際の粉体プロセスでは，乾燥操作や混錬操作など粉体中の液量が変化する操作もあります。そのような操作中で起きる複雑な現象の扱い方や考え方について，参加者から講師，講師から講師への質問を基に議論したいと思います。

****

参加費：会員　無料　　非会員　50,000 円（税込み）定員 50 名様（お申込み先着順）
※法人会員（維持会員，賛助会員，事業所会員）に在籍している社員の方でしたら，どなたでも参加できます。（原則，各社 3 名様まで）
申込方法：学会バンク（https://gkb.jp/visitor/seminar/375）よりお申込みください。
※「第 8 回粉体塾」で検索して下さい。
申込締切：8 月 29 日（金）（定員になり次第締め切ります）
問合せ先：一般社団法人粉体工学会（事務局 金谷）
TEL: 075-351-2318，E-mail: office@sptj.jp

編 集 後 記

私がキャリア（大学教員）をスタートさせたころ，こういうことを言われたことを記憶しています。「粉体工学は未解決課題が多いからまだまだたくさん研究するネタがあるし，出口もはっきりしているから食いっぱぐれなさそうだし，いい分野ですよね〜」。まだ経験の浅い駆け出し教員だった私は，はて？本当にそうなんかな？と，いまいち同意できなかったことを記憶しています。ですが，あれから十年と少しのキャリアを積み重ねた今は，「粉体は研究しないといけないことたくさんあるし食いっぱぐれもない良い分野だ！」と言えます。でも一方で，それは裏を返せば，研究が昔から進んでいないということを意味しているのではないか・・・。そう疑いを抱くこともしばしばです。そんな時に私が重宝しているのは，粉体工学会のウェブサイトにある“粉体工学講義・解説”のページです。ここには，粉体工学会誌で企画・特集された過去の講座シリーズや解説・総説が分かりやすく見事にアーカイブされています。このページのコンテンツを眺めれば，（特に日本における）過去10年間の粉体工学の進捗を俯瞰することができます。これを読むと，ああ，粉体工学は着実に進んでいる。けれども，まだやらないといけないことはある！（良かった！），今日も研究頑張ろう！と思う日々です。

本誌は粉体工学の知をアーカイブし続けている唯一の国内学術誌です。皆様の投稿をお待ちしております。

（チムドンドン）

原 稿 募 集

本会誌は会員の皆様の原稿でつくられます。会員の皆様方からの論文のほかに，解説，総説，技術資料，講座・講義，学位論文紹介，海外報告，四分法等の一般記事のご投稿もお願いいたします。投稿表紙ならびに投稿規程および投稿の手引きは当会のホームページ（https://www.sptj.jp）よりダウンロードできます。投稿規程と投稿の手引きは，1号に掲載しています。

編 集 委 員

委員長	飯村 健次	
副委員長	田原 耕平	
編集委員	梅本 賢	大崎 修司
	小川 法子	門田 和紀
	小澤 隆弘	近藤 光
	高井 千加	綱澤 有輝
	中村圭太郎	仲村 英也
	深澤 智典	藤 正督
	松永 拓郎	三野 泰志
	山本 徹也	吉田 幹生
事務担当	奥村 しのぶ	

◆ 次 号 予 告 ◆

巻 頭 言 粉体工学×情報科学の交差点：複雑系プロセスへの挑戦と新地平…… 高井 千加

第59回夏期シンポジウム
「粉体の関わるマテリアルズインフォマティクス」

解 説 セラミックススラリーの計測インフォマティクス…… 岡崎 俊也 他

解 説 多結晶組織分析への人工ニューラルネットワークの応用…… 小島 拓人

解 説 **フロンティア研究シリーズ**

スラリー中粒子の分散・凝集制御と成形プロセスへの応用…… 北村 研太

令和7年5月30日印刷
令和7年6月10日発行

粉 体 工 学 会 誌

© The Society of Powder Technology, Japan

第62巻 第6号（通巻673号）（2025）

一般社団法人粉体工学会：〒600-8176 京都市下京区烏丸通六条上ル北町181 第5キョートビル7階
TEL: 075-351-2318 FAX: 075-352-8530
No. 5 Kyoto Bldg., 181 Kitamachi, Karasuma-dori, Rokujo-agaru, Shimogyo-ku, Kyoto 600-8176, Japan
E-mail: office@sptj.jp（庶務） kaishi@sptj.jp（和文誌編集） URL: https://www.sptj.jp/

編集兼発行人：一般社団法人粉体工学会（代表理事会長 白川 善幸）

印 刷 所：中西印刷株式会社
〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入ル
TEL: 075-441-3155 FAX: 075-417-2050 E-mail: funtai@nacos.com